

異空間・巨石ピースモニュメント

竹田 豊

アメリカ合衆国武徳会五十周年記念第五回アメリカ武徳祭及び武道合宿開催中の、平成二十七年三月二十六日は早朝から風雨が強く雨が止む気配は全くない天候であった。

午後三時よりピースモニュメント石碑庭園開園式典の開始である。式典に間に合うように雨の中ホテルを出発した。天候が心配されたが現地に到着すると雨は止んだ。

巨石ピースモニュメントの写真は何度か見ていたが、現地で見る巨石は圧倒的な迫力で、近寄りたいたい威厳にみちた存在である。

巨石の周りには目に見えないバリアを巡らせている感があり、一種独特の神域、いや宇宙域という言葉があれば、宇宙域と化している。宇宙からのこの恵とは言葉が発せられないほどの威圧感がある。

式典が始まるころは、太陽光が射し今までの風雨はどこへやら晴天になった。濱田代表理事のオープニング挨拶に続き、両国の国歌演奏が行われ、招待された各来賓の謝辞が続いた。

植樹、高校生の合唱が続き式典は肅々と進み、いよいよ閉会の挨拶が濱田代表理事より述べられた。

お話の中でご家族の事を話された時、突然代表理事の周りだけが突風となり、テントを吹き飛ばさんばかりの勢いで吹き荒れた。五百人

の参加者は息を呑み見守る。

濱田代表理事は機転を利かされ、亡き父上の事をお話された。すると不思議にも突風は瞬時に止まり、先ほどのような天候に戻った。プロムナード参加者が、恐らく体験した事のない劇的な現象であったことは確かだ。

偶然だと言で断を下せばそれ以上の発想は広がらない。

宇宙の「摂理」か「理」なのか、凡人の私には想像出来ない。宇宙は波動で出来ていると以前テレビで誰かが言っていた事を思い出した。魂の波動か、宇宙と一体化した巨石と前生ぜんじょうの人間との合作の世界だったのかは解からない。理解しようと考える事が、宇宙から見れば、おこがましく余計な事なのかも知れない。

式典終了と同時に午前と同じく雨風が強くなった。

地球規模でなく、宇宙規模が巨石エネルギーの不思議を私に体感させた。

